

2026年4月15日
センクシア株式会社

～露出型柱脚工法「ハイベース NEO 工法」を一新～

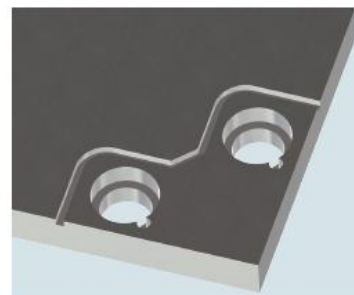
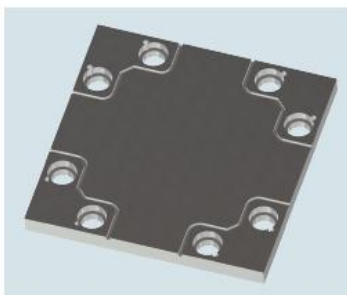
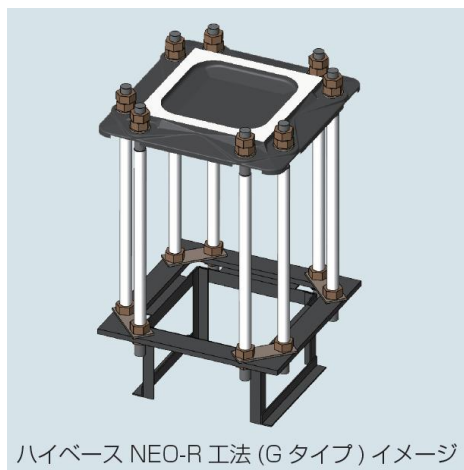
性能・設計自由度・施工性を高めた「ハイベース NEO-R 工法」を発表

建材機器の製造・販売及び施工を手がけるセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：林雄一）は、露出型柱脚工法「ハイベース NEO-R 工法」を発売します。

「ハイベース工法」は、半世紀を超える実績を有する露出型柱脚工法として、これまで多くの建築物に採用されてきました。

「ハイベース NEO-R 工法」は、多様化する建築計画や構造条件への対応を目的に、従来工法を見直し、構造性能、設計自由度、施工性の向上を図った改良工法です。

本工法では、材料に関する国土交通大臣認定と工法に関する(一財)日本建築センター評価を取得しています。また、アンカーボルト設置、無収縮モルタル充填等の施工をセンクシアの認定施工業者が行うことにより、柱脚の品質と構造性能の信頼性を高めています。



エコタイプベースプレート底面新形状

※EBX、EMX 型式

【ハイベース NEO-R 工法の特長】

1. せん断耐力の向上

ベースプレート底面形状を変更し、応力伝達機構を改良したことで、柱脚部のせん断耐力向上を図りました。※底面形状変更はエコタイプ EBX、EMX 型式のみ

2. 1 階 Ds 割増不要の適用範囲拡大

条件を満たす場合、H 形柱タイプにおいても 1 階 Ds 割増を不要とする設計が可能となりました。※強軸方向のみ

3. 柱形配筋量の最適化

配筋ゾーンを再構成し、応力に応じた合理的な柱形配筋設計に対応しています。

4. コンクリート設計基準強度 30N/mm²まで耐力算定が可能

耐力算定の上限を 30N/mm²まで拡大し、より幅広い設計条件に対応可能としました。また、使用可能なコンクリート設計基準強度を最大 60N/mm²まで拡大しました。

5. 型式ラインナップの拡充と施工性への配慮

より幅広い設計に対応するために、型式を追加ラインナップしました。一部の大口径アンカーボルトの固定治具標準化により、基礎配筋との干渉低減など、施工面での合理化も図っています。

【商品概要】

■商品名：ハイベース NEO-R 工法

■販売開始時期：2026 年 夏頃予定

その他ご不明な点はお問い合わせください。

●本件に関するお客様のお問い合わせ先

センクシア株式会社 基礎事業部

TEL：03-4214-1932

●本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先

センクシア株式会社 経営戦略部 広報・マーケティンググループ

TEL：03-4214-1966 / E-mail：keiki@senqcia.com